

阪急沿線 ちょい駅散歩

65駅目

にしむこう

西向日
NISHI-MUKŌ

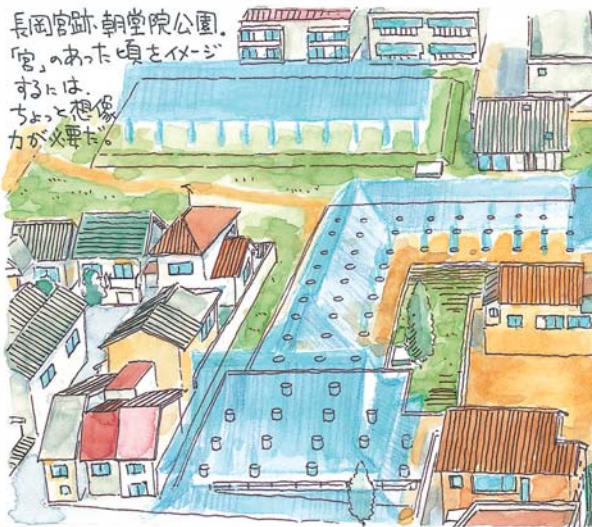
← ながおかてんじん ひがしむこう →
NAGAOKA-TENJIN HIGASHI-MUKŌ

1200年以上も昔、この地にあった都・長岡京。駅周辺の静かな住宅街の間には、今もその遺構が数多くあり、西国街道沿いには江戸時代の商家も残る。そんな歴史深い町を歩いてみると、様々なロマンに満ちあふれていることに気づいた――。



西向日駅 | 所在地/向日市上植野町南開
設置/1928年11月1日

ロマンに満ちた“幻のまち”を訪ねて



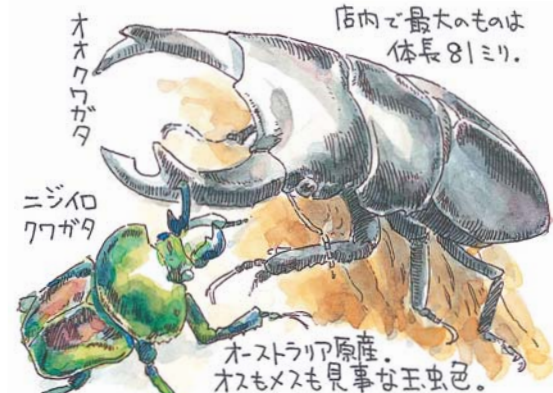
史跡長岡宮跡 町に溶け込む古代の都

784年から794年の平安京遷都までの10年間、日本の首都だった長岡京。西向日駅周辺には、都の中心部にあたる長岡宮の中でも、朝堂院や大極殿など政治を司る重要な役割を果たした史跡があちこちに点在する。2010年には駅すぐの朝堂院公園に案内所がオープン。当時をイメージした古代衣装も用意され、これまでに2万人以上が訪れる人気スポットに。「着ると、



文化財案内員 大畑香世子
はるばる来られる方が増えています

全国各地から
出土した瓦の一部。
状態のいいものは、遷都の時に「引越」したい!



オオクワ京都昆虫館 昆虫ファンがときめく小さな巨人たち

かねてから昆虫採集や標本作りが趣味だったというご主人が、サラリーマンを辞め2000年にオープン。オオクワガタの養殖、販売を中心に行っており、成虫の販売が最盛期を迎える6～9月に扱う数は、国産クワガタのほか海外の珍しい品種など1,000匹以上。関西各地から昆虫ファンが目を輝かせてやって来る。オオクワガタの成虫の寿命は平均で3～4年ほど。4月上旬頃までは冬眠中といえど、どんな光も反射しなそう鈍い黒色の体や鋭いアゴから、短い命を懸命に生きる力強さを感じる。

●11:00～19:00/水曜と3月27日～31日は休/☎075・931・5006

はかな 儂く消えた大計画

1920年代頃、京阪電気鉄道では、後に阪急千里線および京都線となる大阪・天神橋から京都・西院間の路線を名古屋まで延長し、大阪と名古屋の間を急行で2時間で結ぶ壮大な計画があった。その分岐点として考えられていたのがこのあたりだとか。新会社として免許を取得、大量の人材を採用したものの、世界恐慌の影響を受け、残念ながら大ターミナル駅が実現することはなかった。



向日神社 小山から町を見守る由緒ある神社

718年創建と伝わる向日神社は、弥生時代から周辺地域のシンボルだった向日山の南端に位置し、1418年に建てられた本殿は明治神宮本殿のモデルになったという歴史ある神社。神のお告げにより境内の「増井の井戸」からくんだ水で、浪速の国で起きた大きな火事をたちまち鎮めたという伝説も残る。西国街道から丘陵の本殿へと続く約200メートルの参道は、どこか違う世界へ吸い込まれそうなほどまっすぐ。春になると桜のトンネルへと変わるお花見の名所でもあり、今から春の訪れが待ち遠しい。

●境内自由/☎075・921・0217



3月下旬～4月上旬には参道はサクラの道になる。